

出雲圏域プロジェクト全体評価及び成果指標の達成状況(平成26年度)

NO	プロジェクト	全体評価(総括・検証)	成果指標と達成率			
			項目名	H26目標	H26実績	達成率
出雲-1	素材生産の増産対策推進プロジェクト	<ul style="list-style-type: none"> ・H26年度の森林経営計画の策定、森林簿情報の提供及び補助事業を活用した森林作業道の路線設計・開設に取り組み、施業地の集約化が図られつつある。事業体は補助事業を活用し、施業地拡大に対応できる高性能機械を導入したが、今後は効率的な使用方法の検討が必要である。 ・伐採跡地更新のモデル試験地での経過観察、補助事業を活用する伐採跡地の候補地を把握した。 	木材生産団地(集約化区域)からの木材生産量 (m ³)	4,970	5,120	103%
			木材生産量 (m ³)	20,000	16,500	83%
出雲-2	確かな品揃えができる製品づくりプロジェクト	<ul style="list-style-type: none"> ・補助事業を活用した加工施設等の整備が進み、導入した機械を利用して県産材製品の高品質化が図られつつある。また、一畑電車の内装木質化車両の整備や研修等の開催により県産木材のPRが図られた。 ・県外販売に向けて県外展示会へ管内3事業体が参加した。具体的な商談では、市場ニーズの把握、ニーズに対応した製品開発、提供部材のまとまった量の確保が必要である。 	人工乾燥材生産量(管内企業) (m ³)	2,160	2,581	119%
			県産材製品の販売量(県産材展示販売施設) (m ³)	900	890	99%
			製品の県外販売量(管内企業) (m ³)	400	390	98%
出雲-3	菌床生しいたけ生産振興プロジェクト	<ul style="list-style-type: none"> ・補助事業を活用して周年化に向けた栽培施設や新規生産者の栽培施設導入が図られている。 ・マーケティングでは、菌床しいたけを使った料理の試食会や消費者モニターへの商品テスト等を実施した。これらを通じて課題を整理し、県内外への販売促進を行っていく。出雲産しいたけの新名称や商品コンセプトを確立し、ブランド力を高めていく必要がある。 ・今後増加する廃菌床の有効活用では、先進事例調査等を行い、有効な事例があれば試作品の作成を進めていく。 	周年栽培農家の割合 (%)	32	35.4	111%
			生しいたけの出荷量 (t)	316	360	114%
出雲-4	出雲の砂丘海岸林再生プロジェクト	<ul style="list-style-type: none"> ・みーもの森づくり事業及び島根CO2吸収認証制度への支援申請を行い、活動に必要な資金を確保できた。 ・プロジェクト推進会議や合同研修会の開催により、保全活動実施に向けた協議、関係者間の情報交換が図られるとともに、団体間の連携が始まった。 ・保全活動実施に向けた各団体との事前協議や地域住民等に対する活動への参加の働きかけにより、保育、植栽、巡視活動等を概ね計画どおりに実施することができた。 ・管理道の整備を進め、これを活用した森林の巡視・管理活動に取り組むとともに、各団体の実情を踏まえた事業計画の策定を指導し、持続可能な管理手法を検討した。 	地域住民、ボランティア等の整備参加者数 (人)	450	348	77%
			砂丘海岸林整備のための作業実施面積 (ha)	1.04	1.44	138%